



地域との意見交換について

令和5年6月1日



実施状況

地区名	開催日	参加者数	地区名	開催日	参加者数
神山地区	12月18日	8人	白山地区	12月22日	15人
吉野地区	12月21日	5人	栗田部地区	3月23日	7人
坂口地区	3月16日	6人	南中山地区	12月21日	6人
北日野地区	5月19日	16人			

※ 坂口地区は2回目

神山地区



「刃物の里(池ノ上町)」市HPより

種別	発言趣旨
地域資源	越前打刃物やアイシン、信越があり、ものづくりのまちと言えるのではないか。
	龍神山(池ノ上町)がパワースポットになっているらしい。
人口減少・コミュニティ	若い世代は、費用の面で親の家の建て替えではなく、建売を買う傾向がある。
	若い世代は旧集落に入ることを嫌がるので、空き家が増える傾向にある。
	新しい居住者が頭打ちになり、子どもの数がここ1~2年で極端に減っている。
	補助制度がある地域は新しい家が増えているのではないか。
	コミュニティ活動に対する住民の意識が変わってきているように感じる。
	将来、車の運転ができなくなった後のことが不安である。

吉野地区



「愛宕山からみた村国山」市HPより

種別	発言趣旨
まちづくり	都市計画マスタープランは夢のあるプランにしてほしい。
	今住んでる人が住みやすいまちづくりをしないと新しい人もこない。
	開発により人口が増えても、新旧の住民が相互に理解し合わないと、難しい問題が生じることがある。
	吉野瀬川ダムを治水以外にも観光等に活用できないか。
道路	道幅が狭いため、まちづくりの支障になっているところがある。
	災害時のことも踏まえて道路を考える必要がある。(地震時の家屋の倒壊等)
安心安全	調整池は避難所にするより、公園や緑地にしてほしい。
	公共施設(避難所等)の整備が、地域によって差があるのではないか。

坂口地区

※ 2回目



「エコビレッジ交流センターからの眺望」
県HPより

種別	発言趣旨
地域資源	民泊の利用者が、3軒で年120～130名もいる。
	矢良巢岳は海の景色も素晴らしい。
	景色のいいところにベンチを設置したい。
	吉野瀬川の小水力発電が順調に進んでいる。親水エリアもあるとよい。
	里山工房の商品(プリンやケーキ等)は、もっとPRが必要ではないか。
まちづくり全般	地区への北西、北東、東からのアクセス道路が整備されるとよい。
	移住者がうまく地域に馴染んできている。
	週末だけ坂口で過ごすというスタイルもあるのではないか。
	いろいろな人の「やりたい」を相談できる窓口があるとよいのではないか。

北日野地区（1）



「岩内山からみた越前たけふ駅」

種別	発言趣旨
地域資源	日野山、村国山、岩内山等の自然がある。
	越前たけふ駅が開業し、国道、高速道路を含めた交通網ができる。
	大学がある唯一の地区だが、地元との交流は少ない。
	住みよいところだと思う。ショッピングセンターもある。
	御誕生寺(猫寺)が観光地になっている。
越前たけふ駅	駅の周囲は商業施設や研究所、周辺は宅地にするとよいのではないか。
	工場ができれば人口が増えるのではないか。
	今の景観を壊されたくない。
	越前たけふ駅とまちなかを道路でつなぐ必要があるのではないか。

北日野地区（2）



種別	発言趣旨
コミュニティ 人口減少・	Uターンしてもらうには、魅力と働く場が必要ではないか。 「日野山」市HPより
	三世代、四世代と一緒に住むより、お互いの近くに住む方がいいのでは。
	生活や教育、福祉等を地域全体で盛り上げるとよい。
土地利用	農地を残すよりも、規制をはずして宅地整備等に活用できるとよい。
	農地を守っていく必要がある。
	田を活用（レンタル等）したり、稲作以外の利用ができるとよいのではないか。
道路・交通	コミュニティバスの利便性をよくしてほしい。（停留所の位置、ルート、本数）
	越前たけふ駅とまちなかを道路でつなぐ必要があるのではないか。
	県道武生米ノ線、越前たけふ駅南側道路を整備してほしい。

白山地区（1）



「白山小学校」 google ストリートビューより

種別	発言趣旨
地域資源	自然を楽しむ場所（金華山グリーンランド、みどりと自然の村等）がある。
	里地里山に恵まれているが、活かさきれていない。
	サイクリングロードとして整備してはどうか。
	コウノトリは農家の意識を変えた。更なる活用、PR、知名度向上が必要では。
	住んでいてよいところだと感じる。教育環境がよい。
	白山小学校（木造平屋）は自然に溶け込んだいい建物だと思う。
	高齢者に語り部になってもらう等、地元の人材を活用して、魅力を発信するといいいのではないか。

白山地区（２）



種別	発言趣旨
人口減少等	農地や里山の担い手が不足している。
	人口が増えている地区は移住が理由ではないか。
	入ってもらうより、出ていかないための取組みが大切ではないか。
	若い世代に住みたいと思ってもらうための支援(スクールバス等)が必要ではないか。
	白山ファンを増やして、交流人口を増やすことを考えた方がいいのではないか。まちの人との交流で、地元も活性化するのではないか。
道路・交通	状態の悪い県道が多いので整備が必要ではないか。
	神山からの道(武生米ノ線)はよくなったが、大虫からの道(小曾原武生線)は狭い。
	公共交通が不便なので、地域で交通サービスができるとよいのではないか。

栗田部地区（1）



「花筐公園」市HPより

種別	発言趣旨
地域資源	花筐公園は地域のシンボル。
	花筐公園が桜や紅葉の時期だけでなく、通年型の観光地となるとよい。
	蓬萊祀は、神社、地域、小学校が一体となって取り組んできた伝統行事。
	蓬萊祀を持続するためには、新しい取り組みも必要。
	三里山を鯖江市ともつながる場として活用できるとよい。
	伝統工芸(和紙、打刃物、漆器)の産地の中心に位置するため、栗田部地区が周遊の拠点になるといいのでは。
	近くに保育園や小学校、商店があり、暮らしやすい。
	幹線道路も整備されており、越前たけふ駅にも近く、発展の可能性がある。

栗田部地区（2）



種別	発言趣旨
人口減少	若い人が生活しやすくなる工夫が必要ではないか。 「蓬莱祀」市HPより
	武生美山線の沿線は若い人が増えているが、まちなかは高齢化率が40%を超え、空き家も増えている。
コミュニティの維持	ふるさとを心に持っていることが大切。Uターンにつながる。
	小学校で地域への愛着を育む取組みを継続してほしい。
	集合住宅に若い人が増えたが、地縁ができるよう、子どもを通じたコミュニティの形成も重要ではないか。
安心安全	鞍谷川の整備は進んでいるが、内水氾濫が多い。
	水路ができると住みやすさにもつながる。
	排雪場所が少なく、消雪も国道と県道にしか整備されていない。

南中山地区



種別	発言趣旨	「獅子返し(東庄境町)」 『文化財からみる越前市の歴史文化図鑑』より
地域資源	獅子返し等の伝統行事を通して、地域の人々が世代を超えて連帯している。	
	地元の子供たちと作った赤米を薬師寺に奉納している。	
交通	車ならどこへ行くにも近く、住みやすいところだと思う。	
	南越線(福鉄バス)が地区を通らなくなったので、不便になった。市民バスも便数が少ない。	
	買い物や病院は、旧武生市内ではなく、鯖江や福井へ行く。JRも武生駅ではなく鯖江駅を利用する。(アクセスの良さや駐車場等)	
コミュニティ	新興住宅の住民とも話し合うことで、わかりあえるのではないか。	
	伝統行事も地区外から来た住民の意見を取り入れ、持続可能なやり方に変えないと続けていけない。	